



令和四年度

第一回理事会・定時評議員会  
開催される

今年度の第一回理事会が四月二十八日、定時評議員会が五月一三日に開催されました。

定時評議員会では、役員任期満了や辞任に伴い、新たに理事四名、評議員五名が選任されました。

その後に開催された臨時理事会で、会長、副会長三名が選定されました。

主な決議内容は次のとおりです。

◆理事会

【承認事項】

- ① 令和三年度事業の概要報告
- ② 令和三年度会計決算承認
- ③ 監査報告
- ④ 役員等の候補者の推薦
- ⑤ 剰余金の処分
- ⑥ 予算書等の見直し
- ⑦ 令和五年度秋田県消防大会の開催支部

◆評議員会

【議事】

- ① 令和三年度事業の概要報告
- ② 令和三年度会計決算承認
- ③ 監査報告
- ④ 役員等の選任

【協議事項】

- ① 令和四年度事業計画・収支予算
- ② 消防団活動準備資金の取り崩し
- ③ 予算書等の見直し
- ④ 令和五年度秋田県消防大会の開催支部



和4年度(一財)秋田県消防協会評議員会

題 字  
初代会長 松野盛吉  
定 価 1部 48円  
(購読料は年会費に含む)  
発行人  
〒010-0951  
秋田市山王四丁目1番2号  
秋田地方総合庁舎内  
秋田県消防協会  
会長 高橋正尚  
電話 018-867-7320  
FAX 018-863-5910  
http://www.shoubou-akita.or.jp  
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp  
印 刷  
〒010-0951  
秋田市山王7丁目5-29  
株式会社 松原印刷社  
電話 018-862-8760  
http://www.matsubarainsatsu.co.jp

一般財団法人秋田県消防協会 理事・監事・評議員 (令和4年5月13日現在)

【理事】

役 職	氏 名	所属・階級等
会 長	高 橋 正 尚	美郷町消防団 団長
副 会 長	内 田 清 隆	鹿角市消防団 団長
"	菅 原 一 太郎	横手市消防団 団長
"	永 澤 靖 雄	秋田市消防団 団長
理 事	安 杖 一	秋田県総務部総合防災課 課長
"	齋 藤 勉	大館市消防団 団長
"	渡 邊 正 人	能代市消防団 団長
"	佐 藤 孝 吉	湯沢市消防団 団長
"	伊 藤 博	由利本荘市消防団 団長
"	門 間 勉	潟上市消防団 団長
"	工 藤 琢 磨	秋田市消防本部 消防長
"	佐 藤 広 樹	大曲仙北広域市町村圏組合 消防本部 消防長
"	高 杉 誠	能代山本広域市町村圏組合 消防本部 消防長
業務執行理事	佐 藤 功	秋田県消防協会 事務局長

【監事】

役 職	氏 名	所属・階級等
監 事	武 石 聡	上小阿仁村消防団 団長
"	金 子 英 紀	にかほ市消防団 団長
"	鈴 木 修	東成瀬村消防団 団長

【評議員】

役 職	氏 名	関係する消防機関
評 議員	澤 口 紀 夫	小坂町消防団
"	前 田 幸 栄	鹿角市消防団
"	杉 渕 一 弘	北秋田市消防団
"	長 岐 篤 市	北秋田市消防本部
"	伊 藤 孝 年	藤里町消防団
"	石 井 義 則	三種町消防団
"	菊 地 直 人	八峰町消防団
"	齊 藤 英 一	男鹿市消防団
"	小 玉 多智美	五城目町消防団
"	齊 藤 一	八郎潟町消防団
"	三 浦 公 徳	井川町消防団
"	松 橋 稔	大潟村消防団
"	佐々木 徹	秋田市消防団
"	大 山 司	秋田市消防団
"	阿 部 一 彦	由利本荘市消防団
"	佐 藤 剛	由利本荘市消防本部
"	佐 藤 一	大仙市消防団
"	渡 辺 勇 悦	仙北市消防団
"	高 橋 良 則	横手市消防団
"	柴 田 和 久	横手市消防団
"	佐 藤 良 友	羽後町消防団
"	近 野 仁	湯沢市消防団
"	佐 藤 正 晴	湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部

令和 3 年度決算〔正味財産増減計算書〕

(2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
経常収益計	26,707,548	27,612,476	△ 904,928
主な内訳			
基本財産運用益	51	255	△ 204
掛 金	5,078,400	5,209,200	△ 130,800
事業収益	137,500	198,000	△ 60,500
受取補助金等	10,337,663	10,733,974	△ 396,311
受取負担金	5,762,612	5,766,354	△ 3,742
会 費	5,234,100	5,360,100	△ 126,000
その他経常収益	157,222	344,593	△ 187,371
経常費用計	23,731,800	24,043,975	△ 312,175
主な内訳			
給与等	11,443,527	11,844,129	△ 400,602
旅費交通費	762,089	877,821	△ 115,732
消耗什器備品費	3,326,452	2,864,612	461,840
印刷製本費	1,331,521	1,410,398	△ 78,877
支払助成金	105,000	0	105,000
委託費	1,282,083	1,380,583	△ 98,500
互助会見舞金	1,920,000	2,080,000	△ 160,000
その他経常費用	3,561,128	3,586,432	△ 25,304
当期経常増減額	2,975,748	3,568,501	△ 592,753
当期一般正味財産増減額	2,975,748	3,568,501	△ 592,753
一般正味財産期首残高	113,073,707	109,505,206	3,568,501
一般正味財産期末残高	116,049,455	113,073,707	2,975,748
正味財産期末残高	116,049,455	113,073,707	2,975,748
主な内訳			
基本財産	3,000,000	3,000,000	0



令和四年春の叙勲及び第三八回危険業務従事者叙勲の受章者が四月二十九日発令されました。  
 本県の消防関係では叙勲二四名、危険業務従事者叙勲八名の方々を受章され、五月九日に秋田県庁正庁において、知事伝達式が行われました。受賞者の皆様、誠におめでとうございます。(記載は五十音順)

令和四年春の叙勲  
 第三八回危険業務従事者叙勲

令和四年春の叙勲

◆瑞宝小綬章(一名)

元秋田市消防本部  
 消防正監 海野達雄

◆瑞宝双光章(四名)

元横手市消防団 長 菊池二郎  
 元井川町消防団 長 遠間富和  
 元八峰町消防団 長 本多健  
 元男鹿市消防団 長 吉田陽一

◆瑞宝单光章(一九名)

元秋田市消防団 分団長 井川良洋  
 元湯沢市消防団 副団長 石垣博邦  
 元北秋田市消防団 分団長 永坂初男  
 元秋田市消防団 副団長 小野甚左衛門  
 元能代市消防団 副団長 加藤建一  
 元横手市十文字消防団 副団長 加納一男

◆瑞宝双光章(八名)

元大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

消防 監 荒 川 康 紀

第三八回 危険業務従事者叙勲

- 元井川町消防団 副 団 長 児 玉 武 夫
- 元羽後町消防団 分 団 長 佐 々 木 孝 一
- 元由利本荘市消防団 分 団 長 佐 々 木 民 男
- 元北秋田市消防団 分 団 長 佐 藤 昭 夫
- 元横手市雄物川消防団 副 団 長 佐 藤 弘
- 元羽後町消防団 分 団 長 菅 原 静 夫
- 元大館市消防団 副 団 長 菅 原 新 一
- 元秋田市消防団 副 団 長 鈴 木 正
- 元潟上市消防団 団 長 高 橋 寛 儀
- 元美郷町消防団 副 団 長 辻 清 己
- 元大仙市消防団 副 団 長 富 樫 正 一
- 元大仙市消防団 副 団 長 富 岡 喜 榮
- 元大仙市消防団 副 団 長 豊 巻 一 男

新消防長紹介

【令和四年四月一日就任】



大館市消防本部

あぶ かわ しげ き  
虻 川 茂 樹



- 元横手市消防本部 消 防 監 伊 藤 弘 明
- 元大館市消防本部 消 防 司 令 長 大 澤 健 一
- 元秋田市消防本部 消 防 司 令 長 鎌 田 千 尋
- 元大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 消 防 監 相 馬 健 雄
- 元由利本荘市消防本部 消 防 司 令 長 成 田 弘
- 元由利本荘市消防本部 消 防 司 令 長 正 木 修 一
- 元男鹿地区消防一部事務組合消防本部 消 防 司 令 長 渡 部 政 司

新消防団長紹介

【令和四年四月一日就任】



羽後町消防団

さ とう よし とも  
佐 藤 良 友



男鹿市消防団

さい とう えい いち  
齊 藤 英 一



湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部

さ とう まさ ひろ  
佐 藤 正 晴



にかほ市消防本部

あ べ みつ や  
阿 部 光 弥



五城目町消防本部

さ さ き たか ひと  
佐 々 木 貴 仁



男鹿地区消防一部事務組合消防本部

わた なべ のぶ あき  
渡 部 伸 明



秋田県消防学校の初任教育第七六期入校式が四月八日(金)、県内一三消防本部から四八名の入校生並びに来賓など約九〇名が出席し、同校屋内訓練場で行われました。

入校式では、渡辺明校長の式辞に続き、神部秀行秋田県副知事、工藤琢磨秋田県消防長会長、高橋正尚秋田県消防協会長が祝辞を述べ、入校生を代表し北秋田市消防本部の石橋操大消防士が宣誓を行いました。

初任教育は、九月一六日まで行われ、警防隊員として活動できる能力を養成します。

第七六期 初任教育始まる  
四八名が新たな一歩を踏み出す  
秋田県消防学校



初任教育第76期入校生名簿

秋田市消防本部

田 口 凛  
明 石 健之介  
熊 谷 里 玖  
下 間 拳 真  
浅 田 大 輝

佐々木 一 葉  
和 賀 莞 汰  
荒 川 一 真  
袴 田 天 汰  
佐々木 秀

大館市消防本部

菊 地 逸 平

北秋田市消防本部

石 橋 操 大  
柴 田 陸 斗

花 田 康 貴  
千 葉 音 陽

由利本荘市消防本部

工 藤 宇 宙

小 林 魁 星

にかほ市消防本部

尾留川 士 恩  
齋 藤 幸 征

山 田 栞 音

横手市消防本部

柴 田 健 翔

五城目町消防本部

京 野 温 斗

鹿角市広域行政組合消防本部

鈴 木 怜 奈 吉 田 ひかり

能代山本広域市町村圏組合消防本部

板 倉 悠 斗 山 谷 健 人  
島 崎 飛 向 工 藤 響  
神 馬 真 翔

湖東地区行政一部事務組合消防本部

佐々木 陸 伊 藤 勇 大  
奈 良 悠 平 伊 藤 陽 翔

男鹿地区消防一部事務組合消防本部

杉 本 千 尋 木 村 拳 翔  
安 田 朝 葵

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

佐 藤 創一朗 佐 藤 魁  
麥 田 慧 那 安 藤 海  
茂 木 俊 介 富 樫 琉希亜  
伊 藤 叶 多 伊 藤 拓 真

湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部

池 邊 龍之介 高 橋 遼  
佐 藤 良 伊 中 野 敏 樹

秋田県消防学校職員名簿

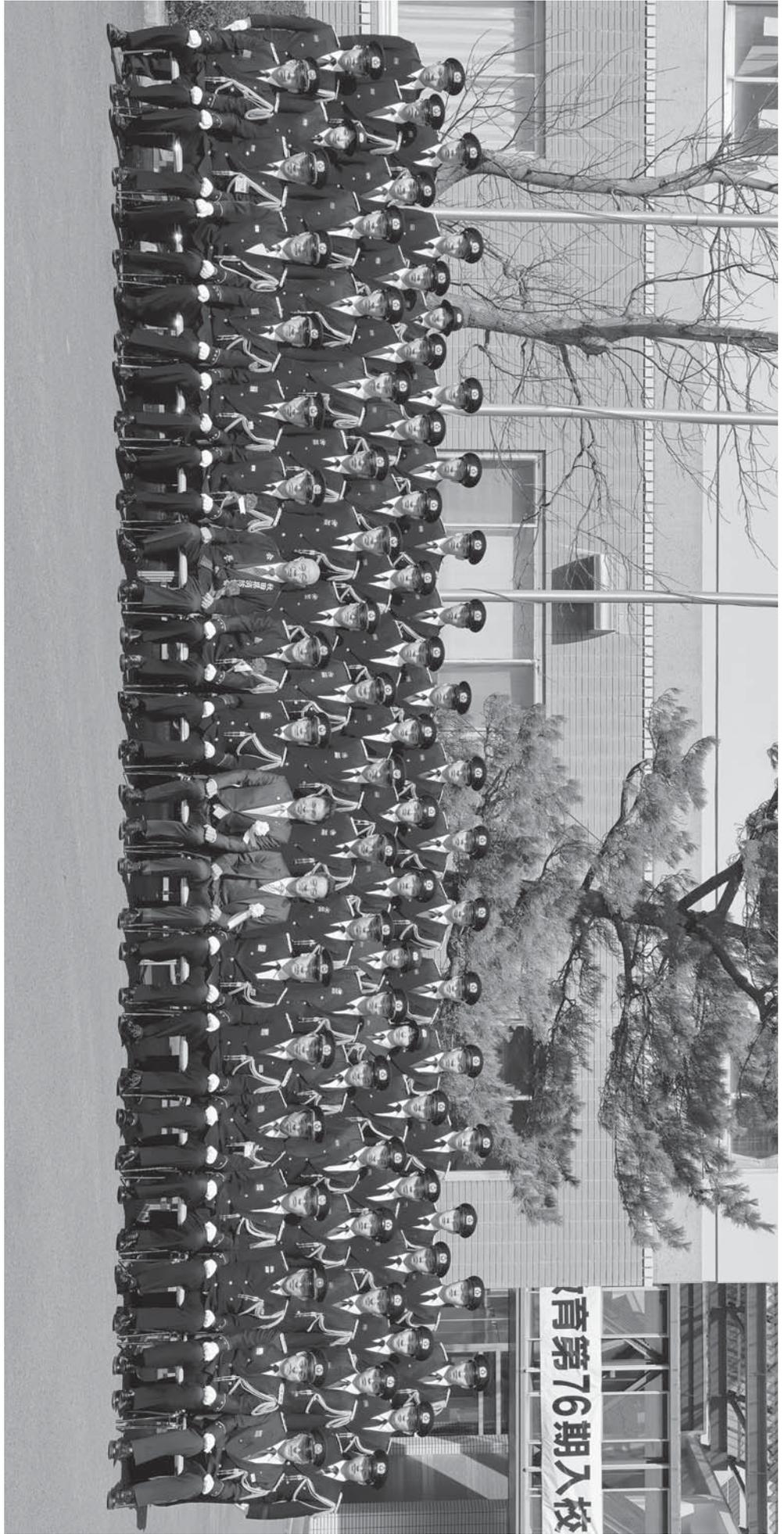
校 長 渡 辺 明  
副 校 長 武 藤 学  
副校長・班長 大 野 光 徳

総務班

主幹・班長 伊 藤 睦 男  
副 主 幹 手 塚 昇  
主 事 菊 地 彩 夏  
技能主任 齋 藤 佳 人  
職 員 田 口 美 穂  
舎 監 今 野 裕 徳  
舎 監 吉 成 勉  
舎 監 鎌 田 千 尋  
防災学習館説明員  
佐々木 美 香  
鈴 木 忠

教務班

副校長・班長 大 野 光 徳  
主 幹 原 田 訓  
副 主 幹 池 田 敏 英  
副 主 幹 齋 藤 広 幸  
副 主 幹 三 浦 克 己  
専 門 員 伊 藤 弥真彦  
主 査 長 岐 博 文



第七六期初任教育  
一ヶ月を振り返って

秋田県消防学校



佐々木 一葉  
(秋田市消防本部)

私は、四月の目標を「一つ一つ正確に覚える」にしました。ルールや礼式など初めてのこと、その一つ一つが消防士として不可欠の基礎となります。教わったことはメモを取り、その日のうちに復習し定着するまで練習することを意識しました。分からないことは自分で考え、友人に聞いたり、周りと助け合うことがこれからも大事になると思います。一ヶ月が経ち、学生同士が仲良くなり充実した日々を過ごしています。これから全体での行動や小隊で訓練することが多くなります。消防はチームワークが大切なので、コミュニケーションを取り、メリハリを付けた行動を意識したいです。訓練では力不足を感じます。女子だから出来ないというのは悔しいので、日々のトレーニングを頑張りたいです。また、女子だからできることや得意なことを見つけながら、充実した半年間になるように頑張りたいと思います。



花田 康貴  
(北秋田市消防本部)

入校してから一ヶ月が経ちました。あつという間の一ヶ月でした。入校前は、不安と緊張でいっぱいでした。しかし、生活していくうちに寮生活にも慣れ、同期の四八名ともコミュニケーションを取ることができ

きるようになりました。勉強や訓練、体力錬成なども全員で切磋琢磨しながら、取り組むことができています。私自身、高校を卒業してまだ間もなく知識も経験も全くない中、同じ部屋の先輩や実務経験のある先輩方のアドバイスのおかげで、この一ヶ月を乗り越えてこられたと感じています。

これから訓練は、今まで以上に厳しく辛いものになってくると思うので、四八名の同期と協力し合いながら乗り越えていけるように頑張りたいと思います。そして半年後には一人前の消防士になれるように、知識や技術を深めて日々成長していきたいです。残りの学校生活でも、初心を忘れることなく常に向上心を持って生活し、七六期の四八名全員で卒業を迎えられるように一生懸命努力したいです。



柴田 健翔  
(横手市消防本部)

入校後一ヶ月が経過し、自分が消防士である使命感と自覚が芽生え始めました。同期たちとの生活や消防学校での生活習慣にも慣れ始め、毎日厳しいこともありますが、楽しく過ごすことができ、充実感に溢れています。

この一ヶ月の訓練や授業で学んだことが幾つかあります。

一つ目は、制服や資機材を大切に扱うということです。私たち消防職員の制服や資機材は税金で賄われているため、その制服をだらしなく着用していたり資機材を大切に扱っていなければ、市民の信頼を容易に失い組織全体のイメージが悪くなってしまうため、いつも清潔に着こなし大切に扱うことが大事であると学びました。

二つ目は、コミュニケーションを徹底的に図ることです。現場では、声をかけて活動することが基本であると実感する場面が多くありました。残りの訓練では、呼称等を通してコミュニケーションを取り、確実に活動を行いたいと思います。

この一ヶ月は、たくさん学びがありました。残りの期間で立派な消防士になれるよう努力していきたいです。



京野 温斗  
(五城目町消防本部)

私は消防士に小学一年生の頃に興味を持った。東日本大震災が起き、不安で心が埋め尽くされている人が大半だったと思うが、テレビに映っている消防士たちは凜としており、一つ一つの所作で国民に安心感を与えていた。五城目町は幸い被害が大きくなかったが、津波が起きた他県の言葉にならない景色が今でも鮮明に頭の中に残っており、一生忘れることはないだろう。

特に鮮明に残っていることは、一人の消防士が一人の男性市民の命を救っていたことだ。その男性は低体温症で危ない状況だったが、消防士はすぐに応援を要請し的確な処置で一命を取り止めた。私は、これをきっかけに消防士になった。

入校してから身の回りのことは全て自分でやらなければいけないくなり、生活から見直すこととなった。最初は訓練礼式を身に付け、今でも同部屋の人達と確認し練習している。

訓練では、結索や三連梯子をやったが、現場で必ず必要となる能力が完全には身に付いていないため、高い意識を持ってやっていく。

この半年、四八人が力を合わせ、即戦力として活躍できるように技術と知識を身に付けていく。



山谷 健人  
(能代山本広域市町  
村組合消防本部)

一ヶ月が経過し充実した日々を送ることができている。午前中は授業で教養を深め、午後には訓練で技術向上を図り、夜はランニングや体幹トレーニングを行い、現場に必要な知識、技術、体力を養うためにも、これらのことを継続して行っていきたい。

私は、節度よく行動するという目標を立て生活している。

訓練礼式では、基本姿勢や足の角度、敬礼の角度など決まりごとが難しいので、教官への挨拶や通常点検の時にも意識して行いたい。

訓練では、防火衣着装は四五秒以内の完全着装を目標とし、結索は形と速さにこだわり毎日一回ロープを触り手の使い方慣れること、三連梯子は扱い方によって事故や怪我につながるので安全に速やかに架設できるようにしたい。

学校生活にも慣れ、気の緩みが出る時期かもしれない。気持ちを改め初心を忘れることなく、訓練や座学に励んでいきたい。

現場で上司の言うことをしっかりとこなせるようになるためにも、今学んでいる基礎を大事にして、残りの学校生活を過ごしていきたい。



木村 拳翔  
(男鹿地区消防一部  
事務組合消防本部)

入校から一ヶ月が経ち、この生活にも慣れてきました。入校式では沢山の方からお言葉を頂き、消防士として歩み始めたのだなと改めて実感しました。

入校式後は、訓練礼式の基本動作の反復練習や授業が中心となっていました。基本動作では、指導を受けたことをその日の内に鏡を見て練習し、再度指導を受けないように努力しました。授業では消防法など色々な教科を学びました。日々覚えることが増えていくので苦労しています。

学んだ事を定着させるために自習時間を効率よく利用することを心掛けています。無駄なくしっかりと覚えて業務に活かしていけるようにしたいです。

四月は初めて経験することばかりでした。なかなか覚えることができなかつたロープ結索や三連梯子の操作、ホース延長などは、教官方や実務経験がある同期の方々のアドバイスを基に何度も練習しました。

出来るようになるまでやるという意識を持って次の一ヶ月も臨み、現場で役立つ人材になるために、知識、技術の向上を忘れず、日々精進していきます。



佐藤 良伊  
(湯沢雄勝広域市町  
村組合消防本部)

一ヶ月を振り返ってみると色々なことがありました。

消防学校には一三の消防本部の人達が集まって日々の授業や訓練、寮生活を皆で行います。初めは役割や生活に慣れるまで時間がかかりましたが、一日一日を過ごすたびに慣れて過ごしやすくなってきました。また、訓練や体力錬成で苦戦している時は、皆で励ましの声を掛け合い、切磋琢磨し合いながら過ごせました。

印象に残ったことが二つあります。

一つ目は訓練礼式です。初めは簡単だろうと軽い気持ちでいましたが、実はとても難しく何度も訓練しました。一人が間違えると目立つので、皆が気持ちを揃えないとできません。何度も訓練して、消防学校の歴代一綺麗でかつこい訓練礼式を目指します。

二つ目は精神力です。私は訓練の際に辛い顔をしてしまったので、それでは市民を守れません。どんな状況でも上を向き冷静に活動できる消防士が市民の安心に繋がると思うので、私も目指すべき消防士の姿を意識して精神力を磨いていきます。

地域の防災、災害対策に貢献!



猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551(代)  
猿田興業ビル3F FAX 018 (824) 3651

モリタ消防ポンプ  
桜ホース・ソフト吸管  
各種消火器

シバラポンプ  
消防被服一式  
消防機器一式

株式会社  
株式会社

能代消防センター  
協立

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57  
TEL (0185) (52) 6494  
(52) 6361

# 支部情報アラカルト

## 地域の実態に即した災害現場で 役立つ訓練を実施しました

近年、全国各地で地震や大規模風水害等、様々な自然災害が発生し、災害の大規模化、被害の甚大化が問題となっています。秋田市では、平成二九年七月と八月、翌三十年五月の豪雨により、多くの床上・床下浸水や土砂崩れなどの被害が発生し、消防団員が浸水で孤立した住居から要救助者を救命ボートや背負い搬送により救出した事例があるなど、火災以外の災害にも対応する防災力向上の重要性が高まっています。



消防団の役割の多様化や地域の特性に対応するため、秋田支部では豪雨災害時に住民の避難誘導支援や逃げ遅れた方を救助することを想定し、秋田南消防署に配備している排水ポンプ、救命ボート、ライフジャケットの取扱い訓練を、管轄内に氾濫想定区域を有する仁井田分団が行いました。

消防団活動に必要な資機材の知識や取扱いの習得などは、市民が安全安心に暮らせる社会を維持していくために不可欠であることから、今後も継続的に実践型訓練に取り組み、消防団として地域の防災力向上につなげていきたいと思えます。



### 火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	令和 4 年		令和 3 年			同期比較	
	5 月	累計	5 月	累計	年計	5 月	累計
建 物	18	83	12	95	186	6	-12
林 野	7	25	1	11	24	6	14
車 輛	4	15	4	16	32	0	- 1
その他	27	66	10	35	78	17	31
合 計	56	189	27	157	320	29	32
死者数	3	12	2	14	24	1	- 2
負傷者数	4	26	5	30	49	- 1	- 4

(情報提供) 秋田市支部



トーハツ消防ポンプ  
モリタ自動車ポンプ  
消防被服全般  
秋 田 県 代 理 店

総合防災設備センター

## 株式会社 高 義 商 会

(営業種目)

- トーハツ小型動力ポンプ
- モリタ自動車ポンプ
- ジェットホース
- 消防被服全般
- 火災報知器各種
- 消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32  
TEL(0183)(42)2125  
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

## 株式会社 夕 力 吉

秋田県横手市寿町1番28号  
TEL (0182)(32)3880  
FAX (0182)(32)0839

(営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
- 消防設備保守点検
- トーハツポンプ
- キンパイホース
- 各種消防機械器具
- 各種消火器

ホームページ <http://it-yokote.sakura.ne.jp/>  
E-mail [ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp](mailto:ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp)